



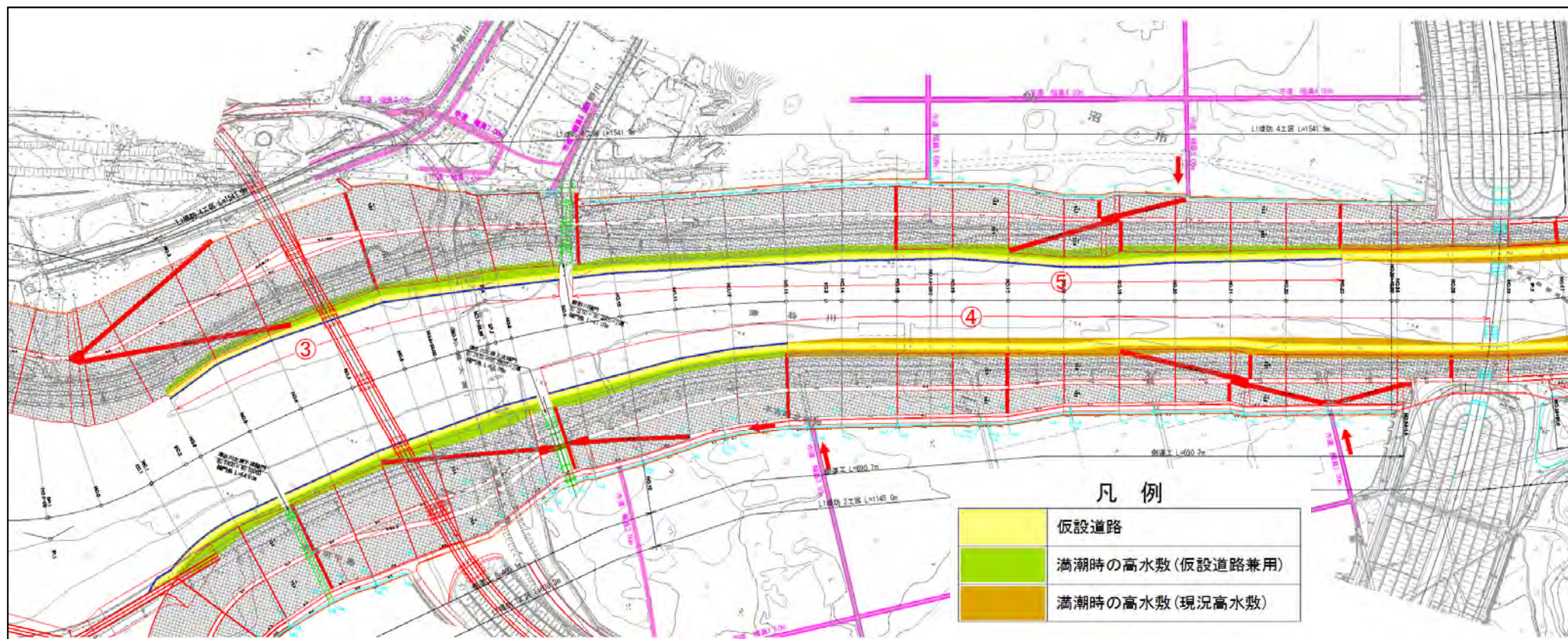
資料-2 要望事項の整備方針案について



1. 高水敷整備(2) 第2回検討WGの結果

高水敷は③～⑤の利用中心に整備方針を議論。

高水敷③～⑤の満潮時の高水敷きは緑色及び茶色の部分となる(黄色は工事用道路)。






【WGにおけるおもな意見及び回答】

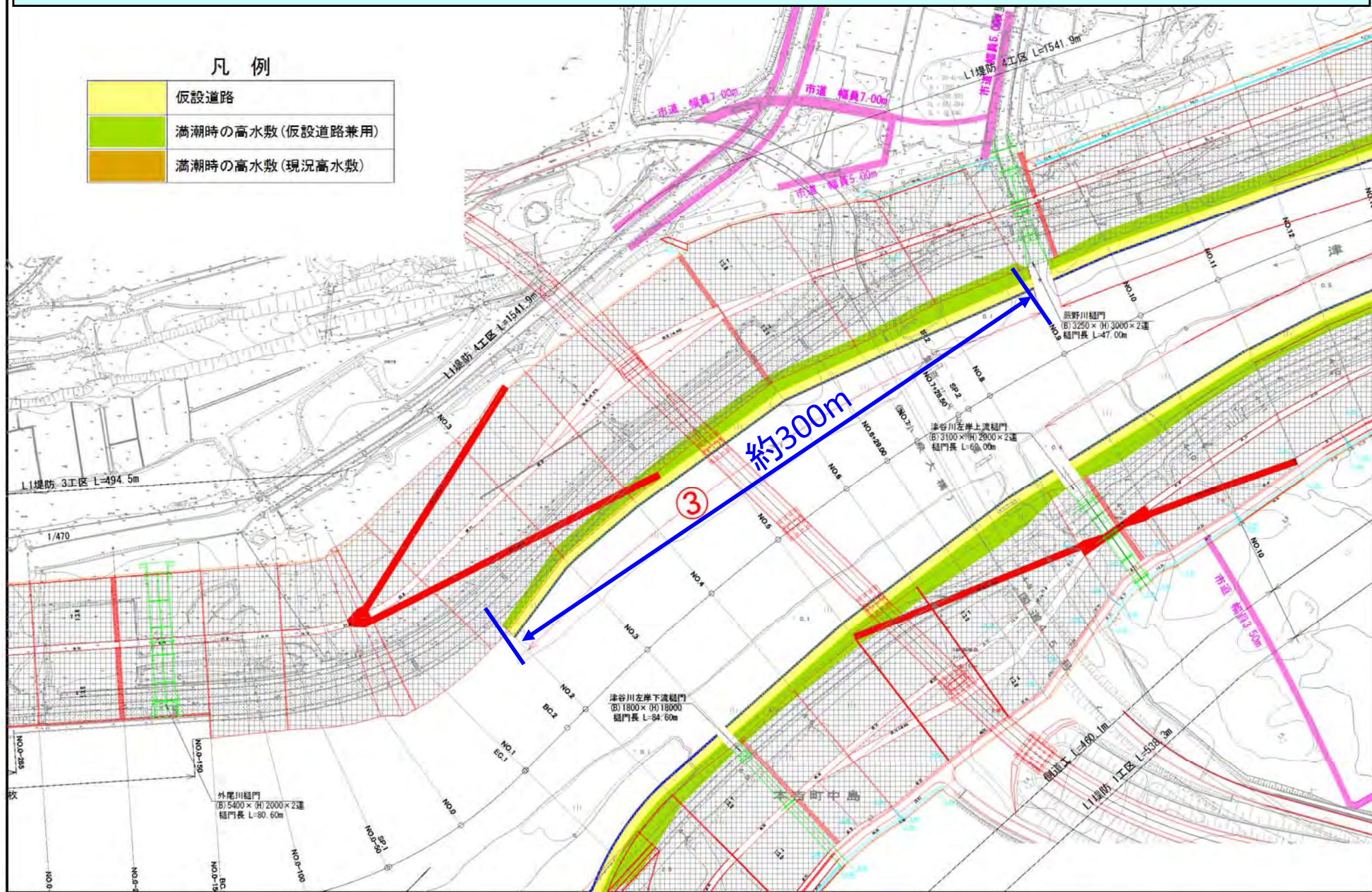
- ・高水敷整備の具体案の提示について概ね了承された。
(反対意見及び具体的な意見・要望はなし)

1. 高水敷整備 (3) 右岸高水敷③平面図

右岸高水敷③は工事用仮設道路を残存する計画で幅13~21mの高水敷が約300m整備される。

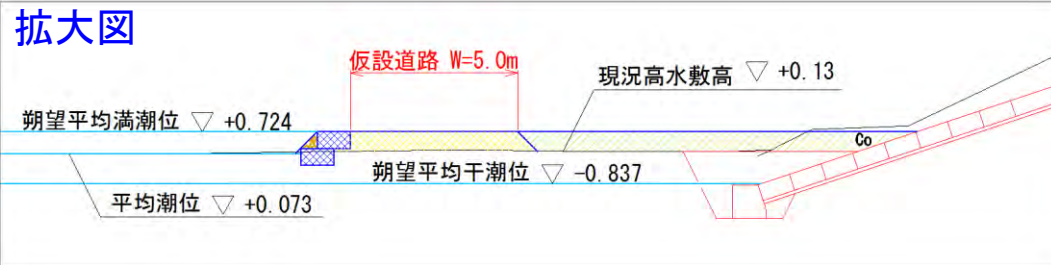
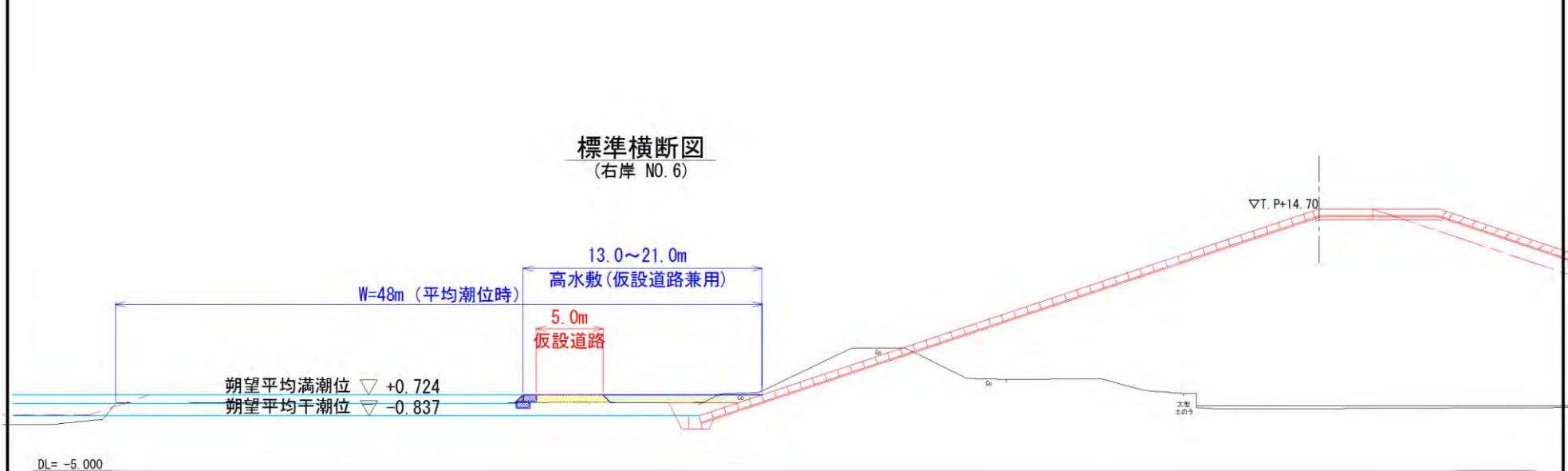
凡例

	仮設道路
	満潮時の高水敷(仮設道路兼用)
	満潮時の高水敷(現況高水敷)



1. 高水敷整備 (4) 右岸高水敷③ 標準断面図

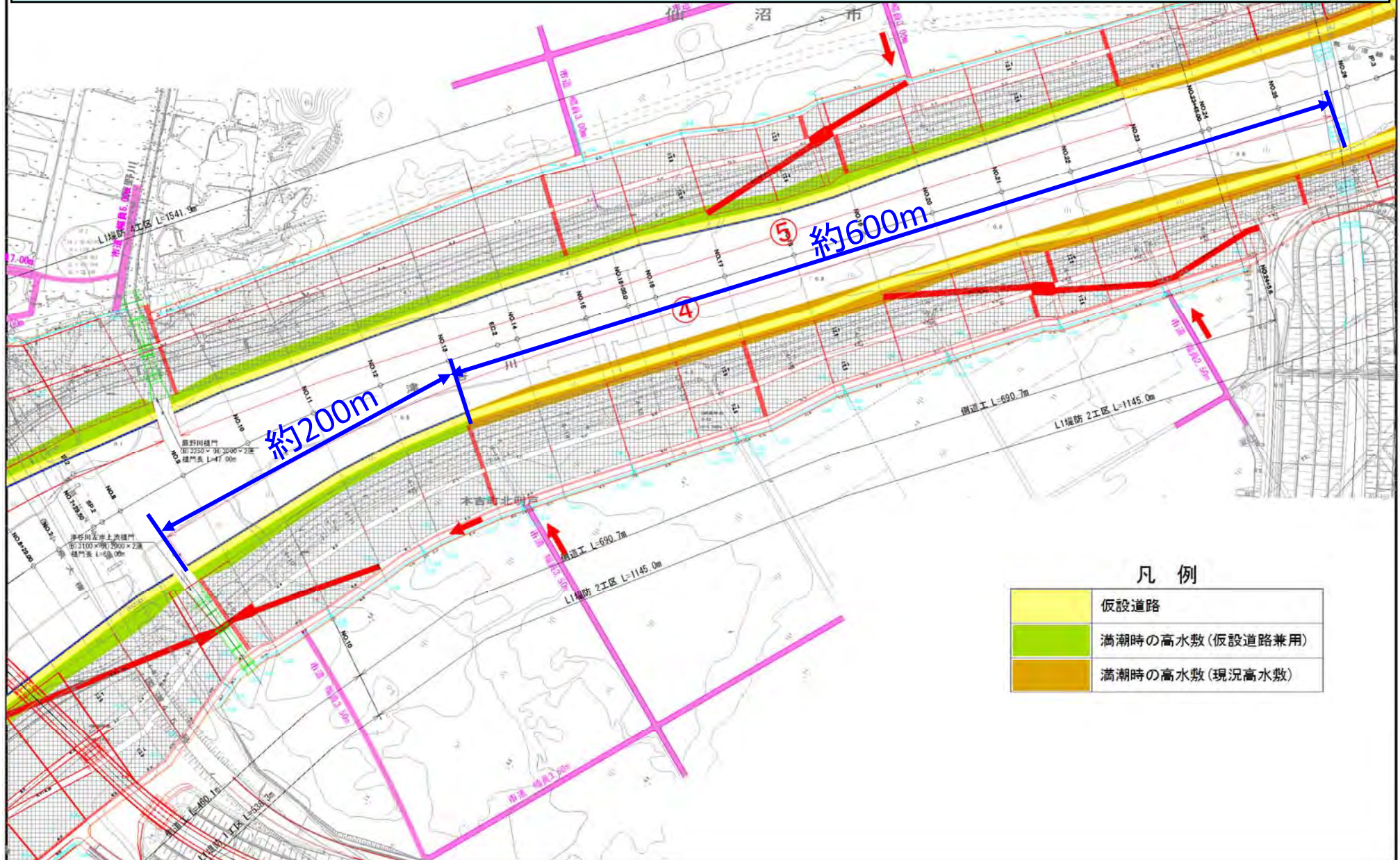
高水敷③標準横断面図 S=1:150
(右岸 NO. 6)



平成 23 年度	関連番号
河川名	二股河川 津谷川
施工地名	気仙沼市本吉町中島地内
工事名	津谷川災害調査設計業務
高水敷③標準横断面図 (右岸 NO. 6)	
縮尺	1:150 全葉の内葉
	設計 製図
宮	城 県

1. 高水敷整備 (5) 左岸高水敷④平面図

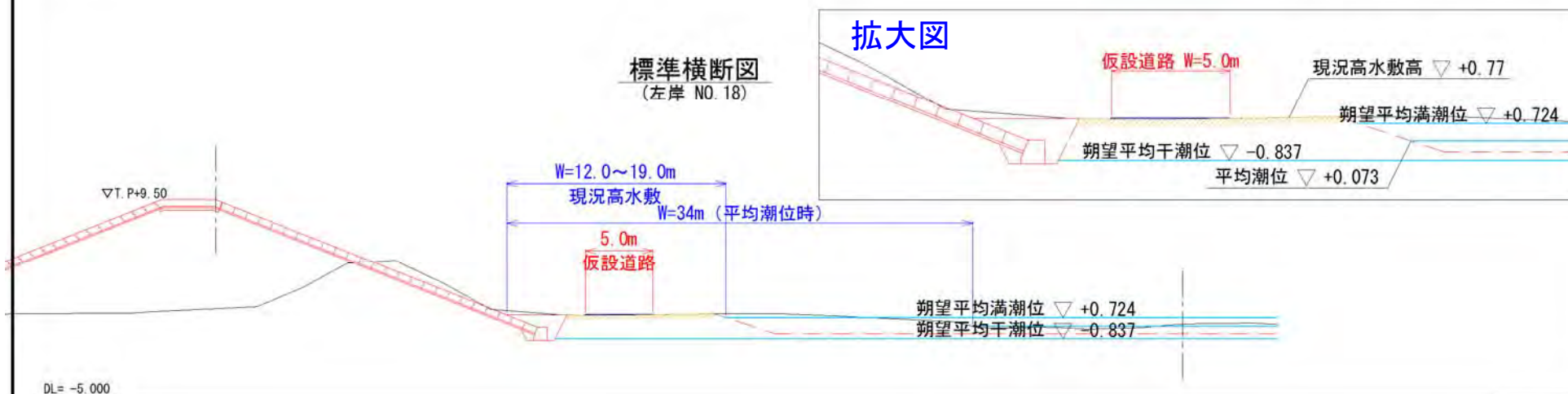
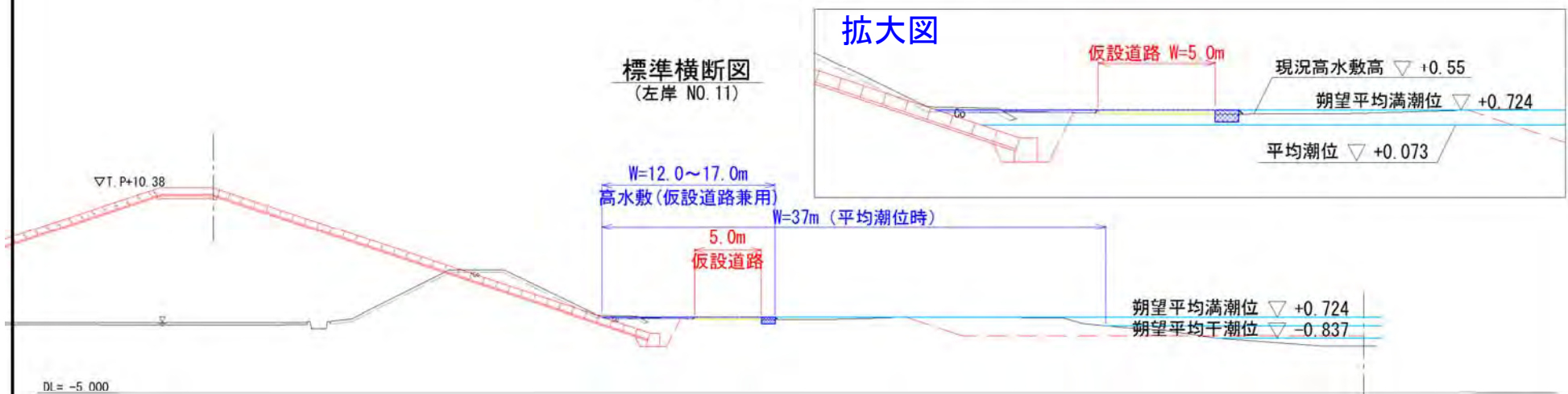
左岸高水敷④は工事用仮設道路を残存する計画で幅12~17mの高水敷が約200m整備される。その上流部では既設高水敷が高いため幅12~19mの高水敷が約600m残る計画となる。



1. 高水敷整備(6) 左岸高水敷④ 標準断面図

高水敷④標準横断面図 S=1:150

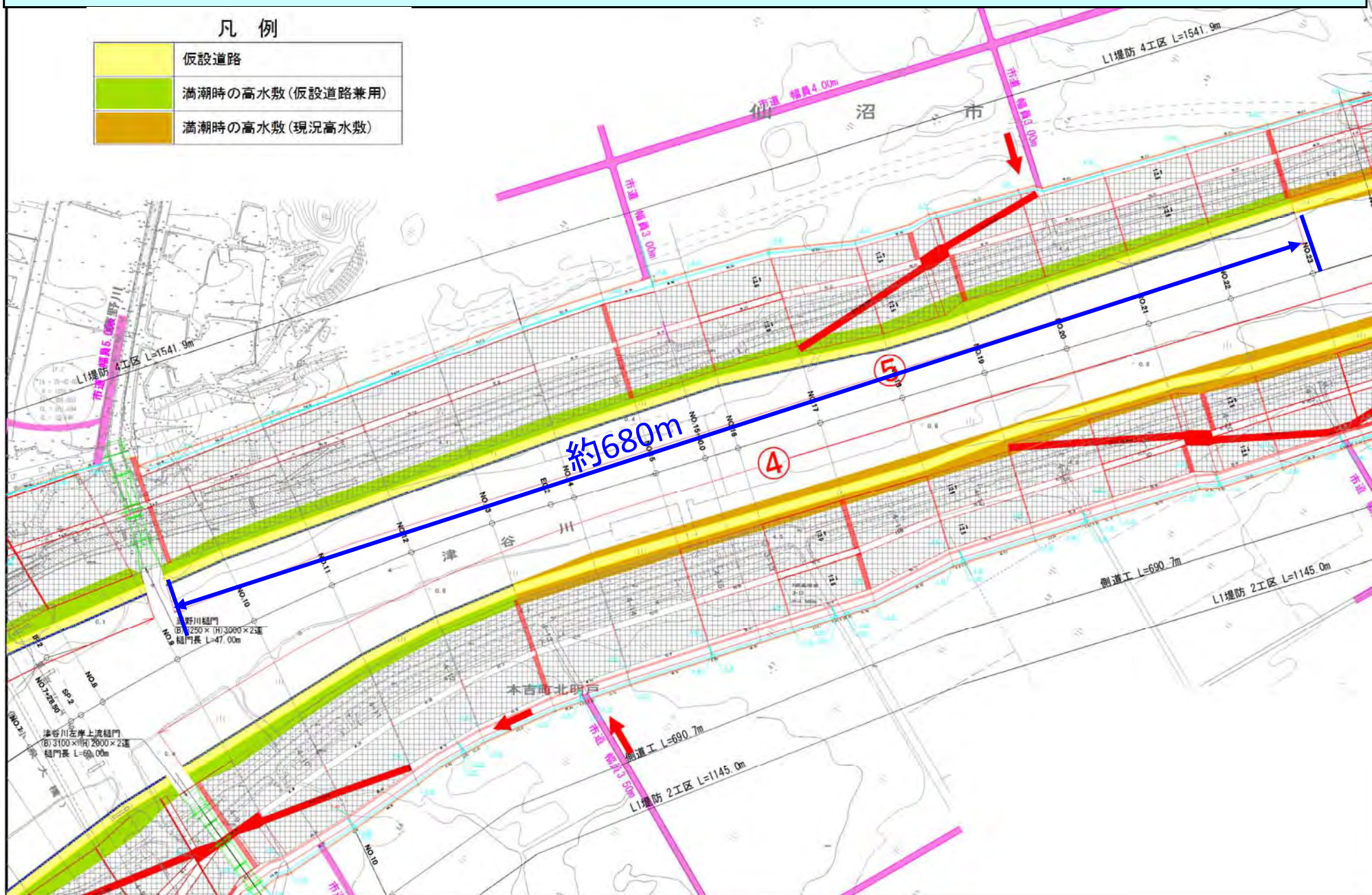
(左岸 NO. 11, NO. 18)



平成 23 年 度	制図番号
河川名	二級河川 津谷川
施工地名	梶川町本吉町中島地内
工事名	津谷川災害調査設計業務
高水敷標準横断面図(左岸 NO. 11, NO. 18)	
縮尺	1:150 全 図の内 量
設計	製図
監 査	備 考

1. 高水敷整備 (7) 右岸高水敷⑤平面図

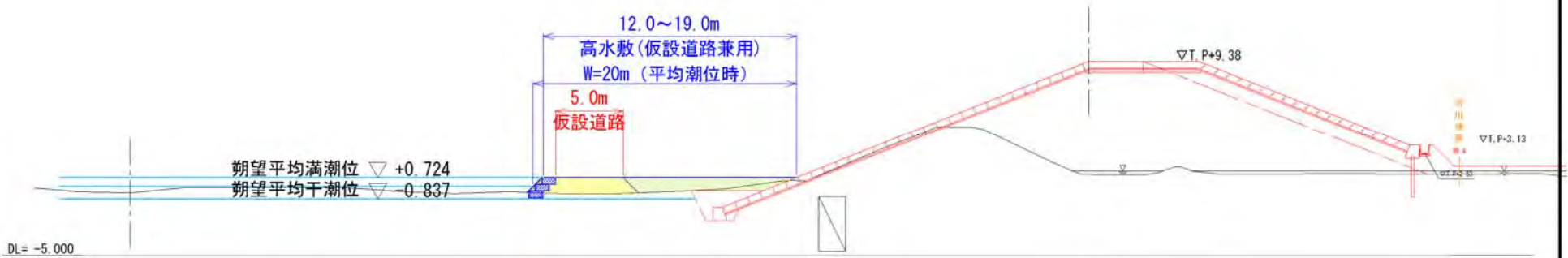
右岸高水敷⑤は工事用仮設道路を残存する計画で幅12~19mの高水敷が約680m整備される。



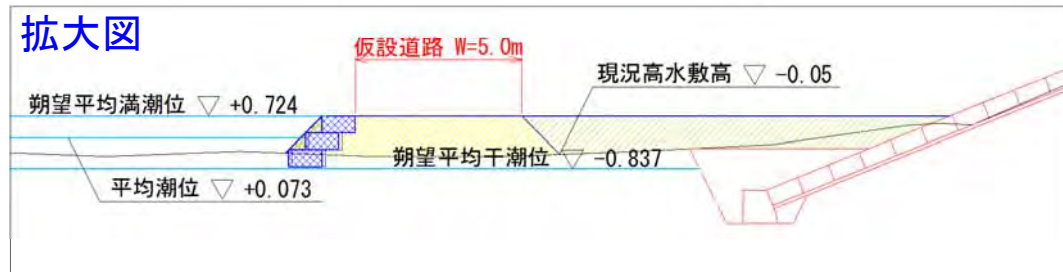
1. 高水敷整備(8) 右岸高水敷⑤ 標準断面図

高水敷⑤標準横断面図 S=1:150
(右岸 NO. 19)

標準横断面図
(右岸 NO. 19)



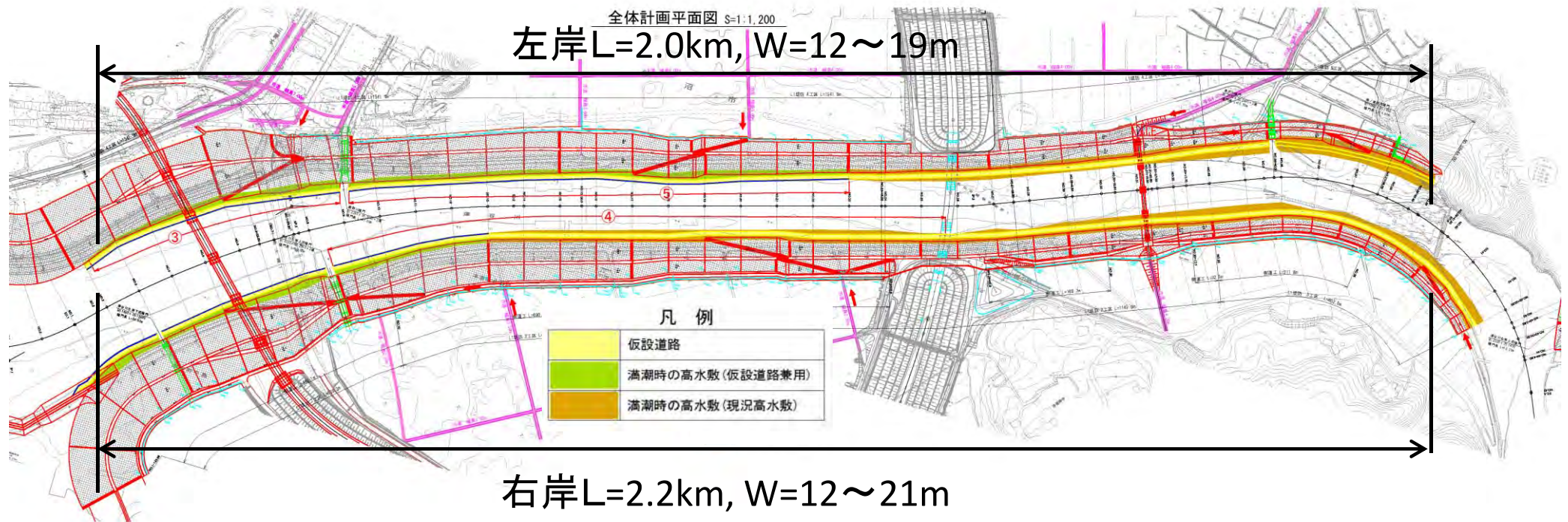
拡大図



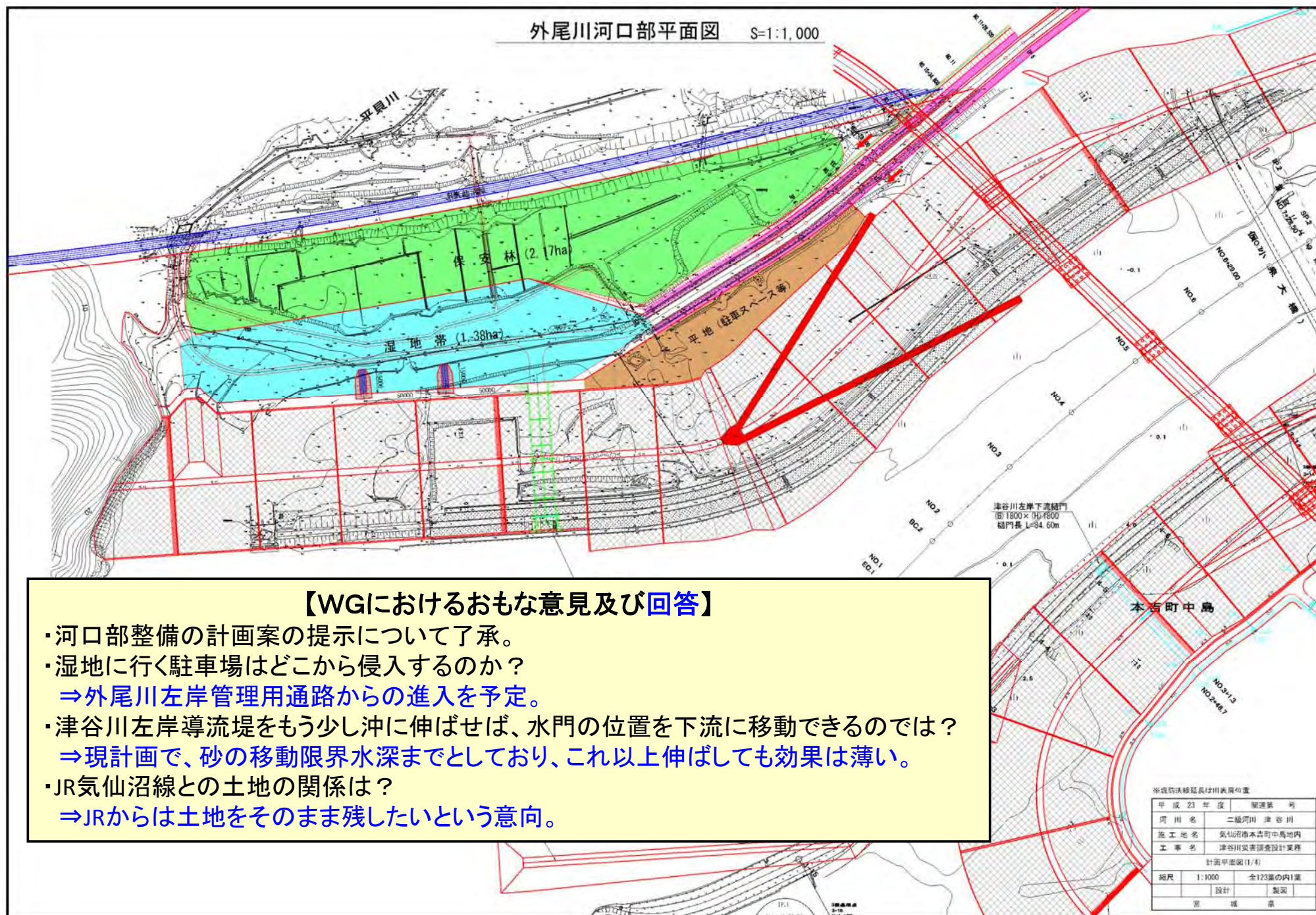
平成 23 年度	国土交通省
河川名	二越河川 津谷川
管工地区名	武仙沼市木古町中島地区内
工事名	津谷川災害調査設計業務
高水敷⑤標準横断面図(右岸 NO. 19)	
縮尺	1:150 全 業の内 業
	設計 監査
	監 査 者

1. 高水敷整備（案）

全体で右岸約2.0km、左岸約2.2kmの連続した高水敷が形成される。
これにより、震災前の利用形態が概ね確保可能となる。



2. 外尾川河口部(1) 第2回検討WGの結果

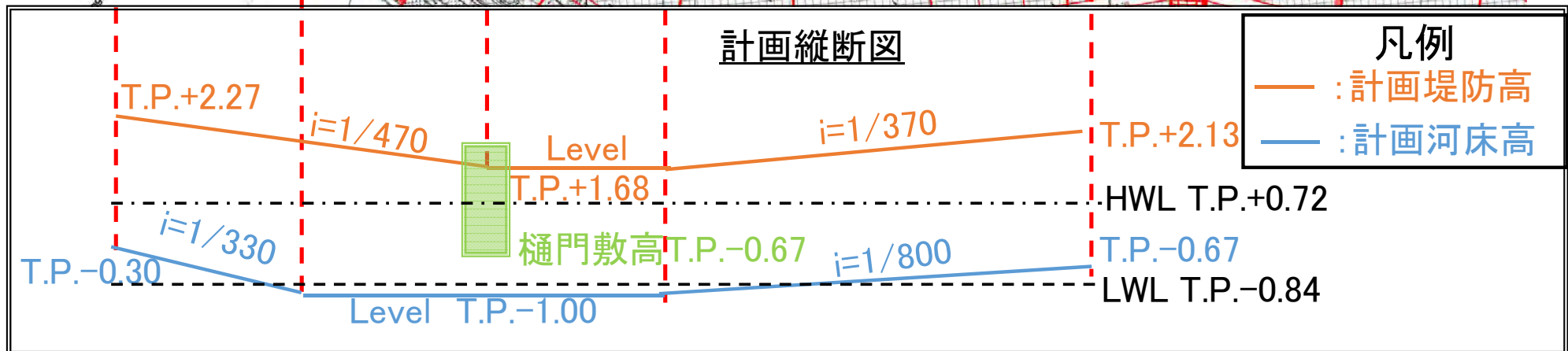
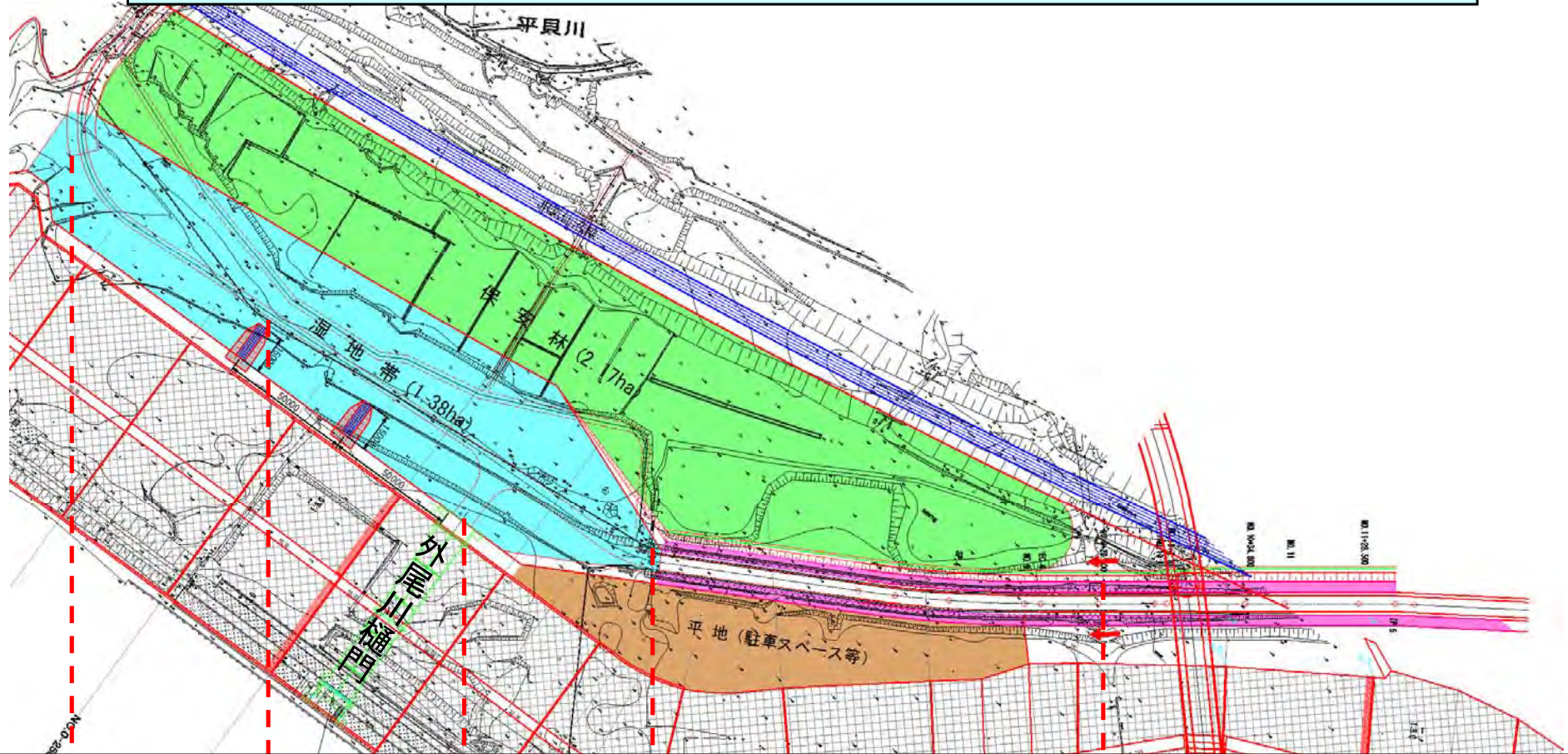


【WGにおけるおもな意見及び回答】

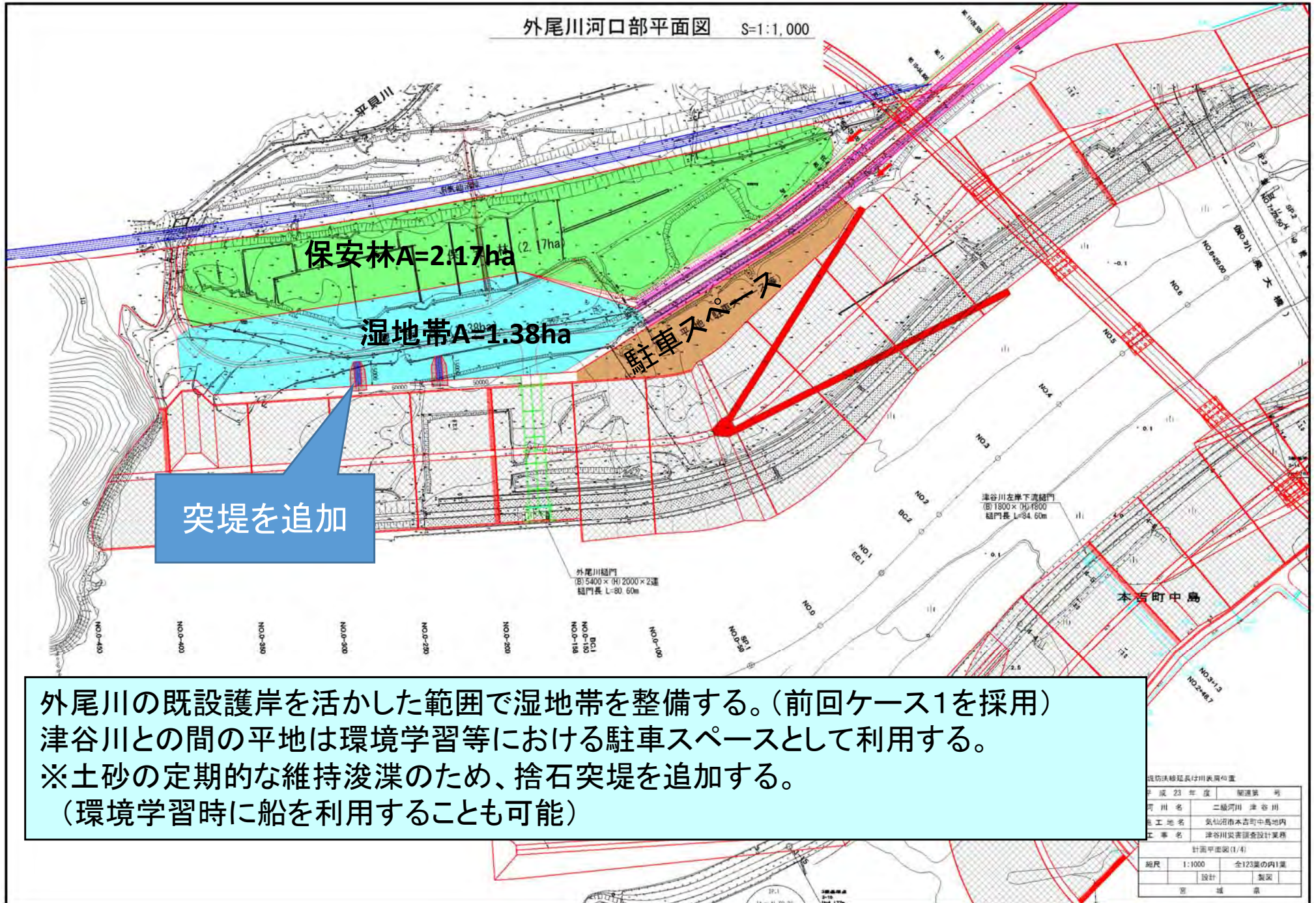
- ・河口部整備の計画案の提示について了承。
- ・湿地に行く駐車場はどこから侵入するのか？
⇒外尾川左岸管理用通路からの進入を予定。
- ・津谷川左岸導流堤をもう少し沖に伸ばせば、水門の位置を下流に移動できるのでは？
⇒現計画で、砂の移動限界水深までとしており、これ以上伸ばしても効果は薄い。
- ・JR気仙沼線との土地の関係は？
⇒JRからは土地をそのまま残したいという意向。

2. 外尾川河口部(2) 外尾川、平貝川の縦断計画

河口部湿地整備に伴い、外尾川縦断計画(河床勾配)の見直しを行った。

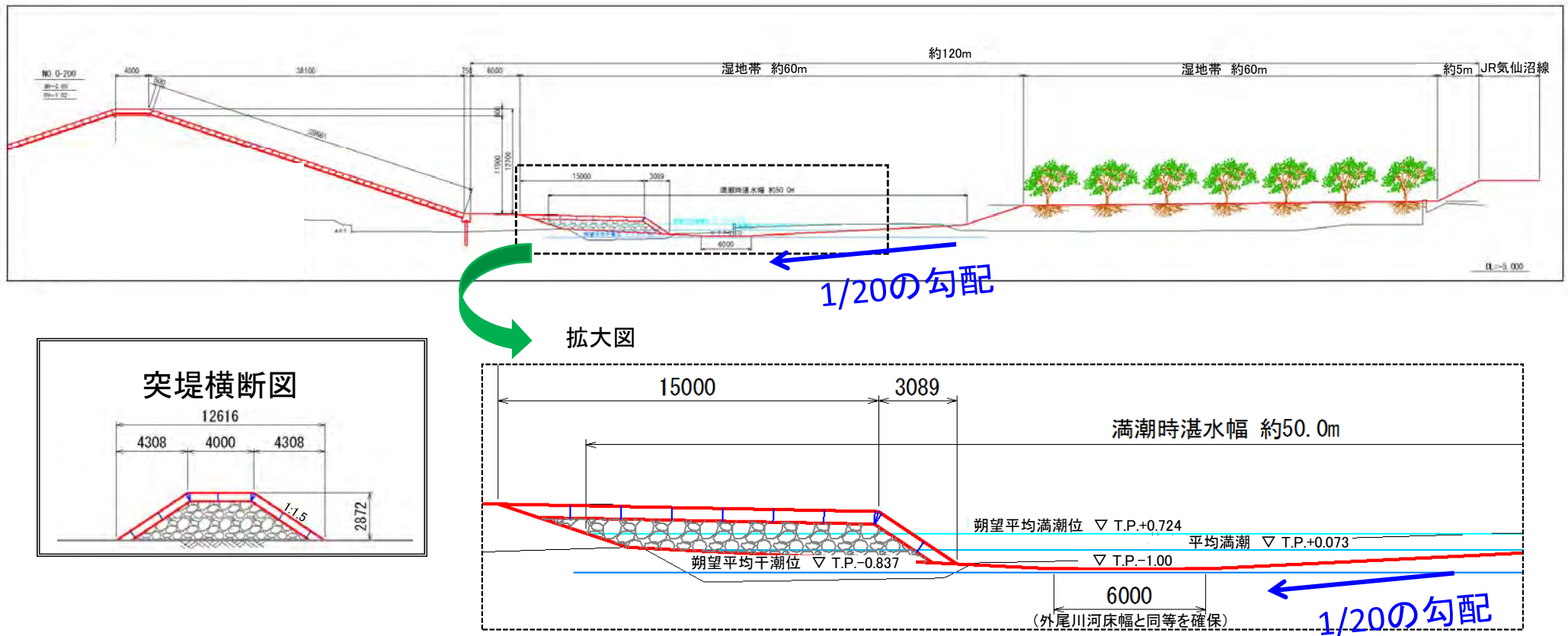


2. 外尾川河口部(3) 整備計画(案) 平面図



外尾川の既設護岸を活かした範囲で湿地帯を整備する。(前回ケース1を採用)
津谷川との間の平地は環境学習等における駐車スペースとして利用する。
※土砂の定期的な維持浚渫のため、捨石突堤を追加する。
(環境学習時に船を利用することも可能)

2. 外尾川河口部(4) 整備計画案 断面図



湿地帯の河床高は外尾川、平貝川の河床高より低く設定(T.P.-1.0m)
 最深部から保安林側に1/20の勾配で緩やかに掘削
 土砂流出が多いとの地元意見を受け、土砂止めとして突堤を追加

2. 外尾川河口部(5) 樋門位置の選定

(1) 樋門位置選定の基本方針

- ① 樋門前面の堆砂防止やゲートへの外洋からの波を低減を期待できる位置
⇒ 左岸側の導流堤による消波効果が期待できる位置
⇒ 測点NO. 0-200より上流側への設置が必要
- ② 堤防の弱点部(屈曲部)回避と施工性の面から、堤防の直線区間に設置
⇒ 測点NO. 0-150より下流側

上記①②より樋門位置は、

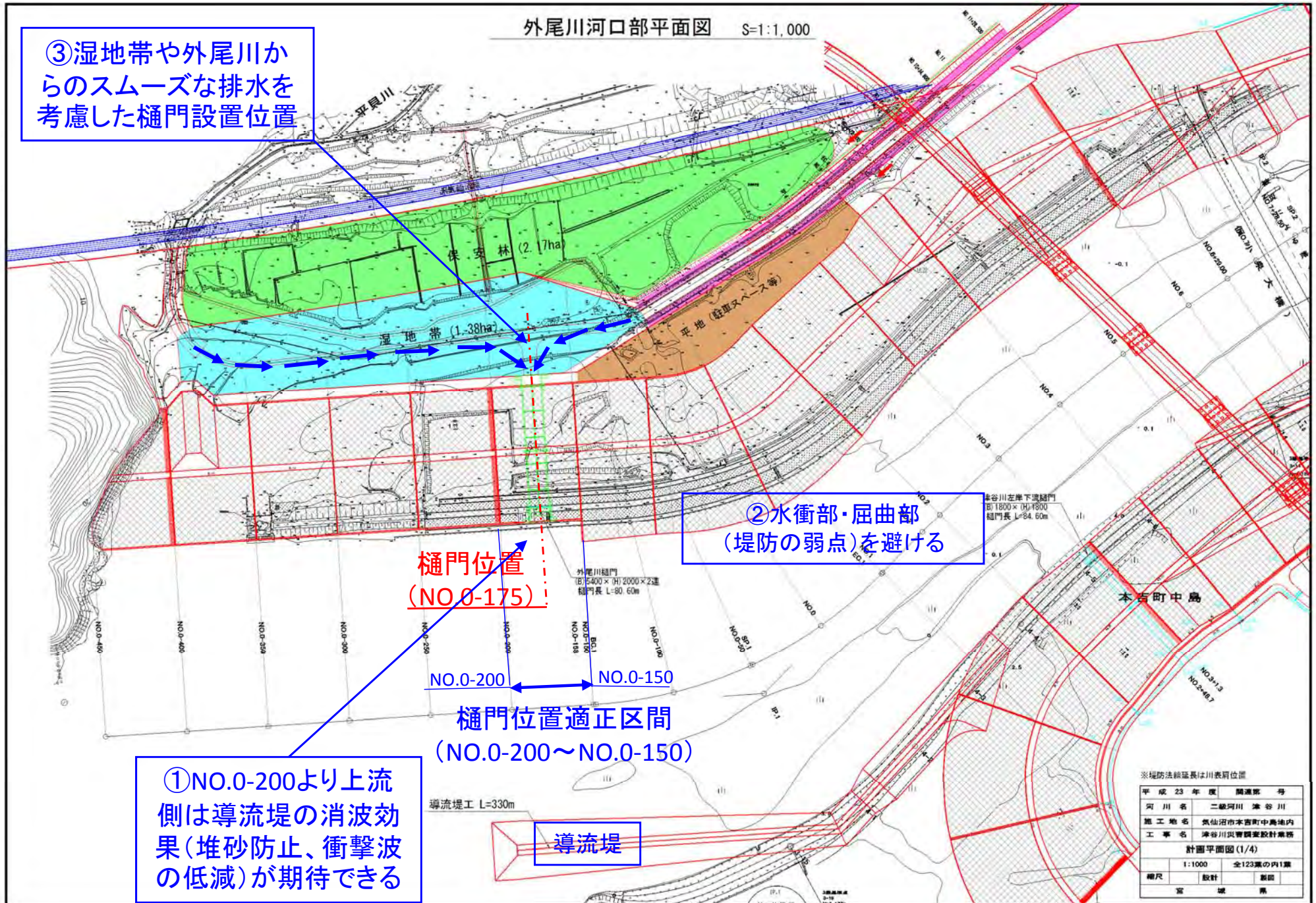
測点NO. 0-200~NO. 0-150(樋門位置適正区間)

の範囲に設置することが良い。

(2) 樋門位置の選定

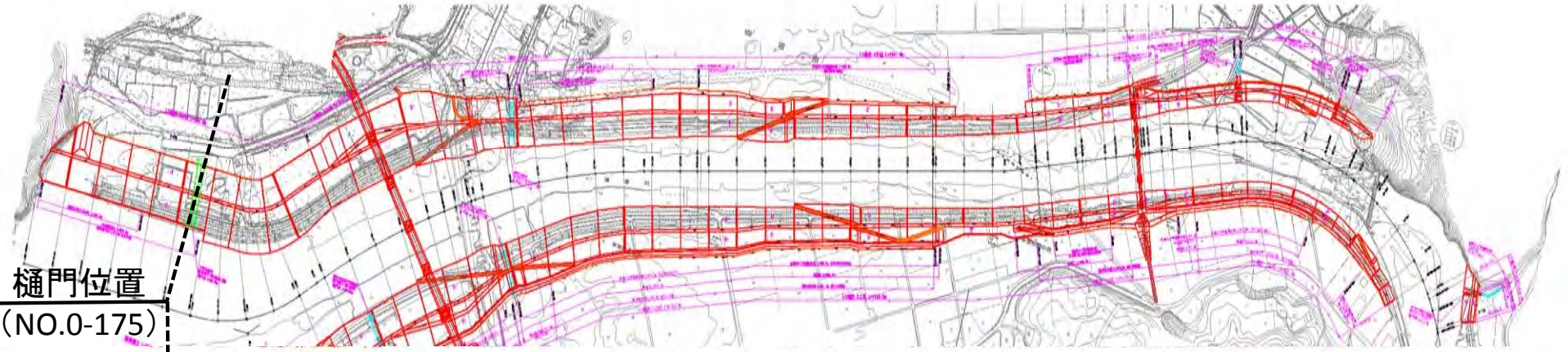
- ③ 外尾川及び平貝川からのスムーズな排水を考慮し、河床LEBEL区間の中間地点とした。
⇒ 樋門位置: 測点NO. 0-175

2. 外尾川河口部(6) 樋門位置の選定



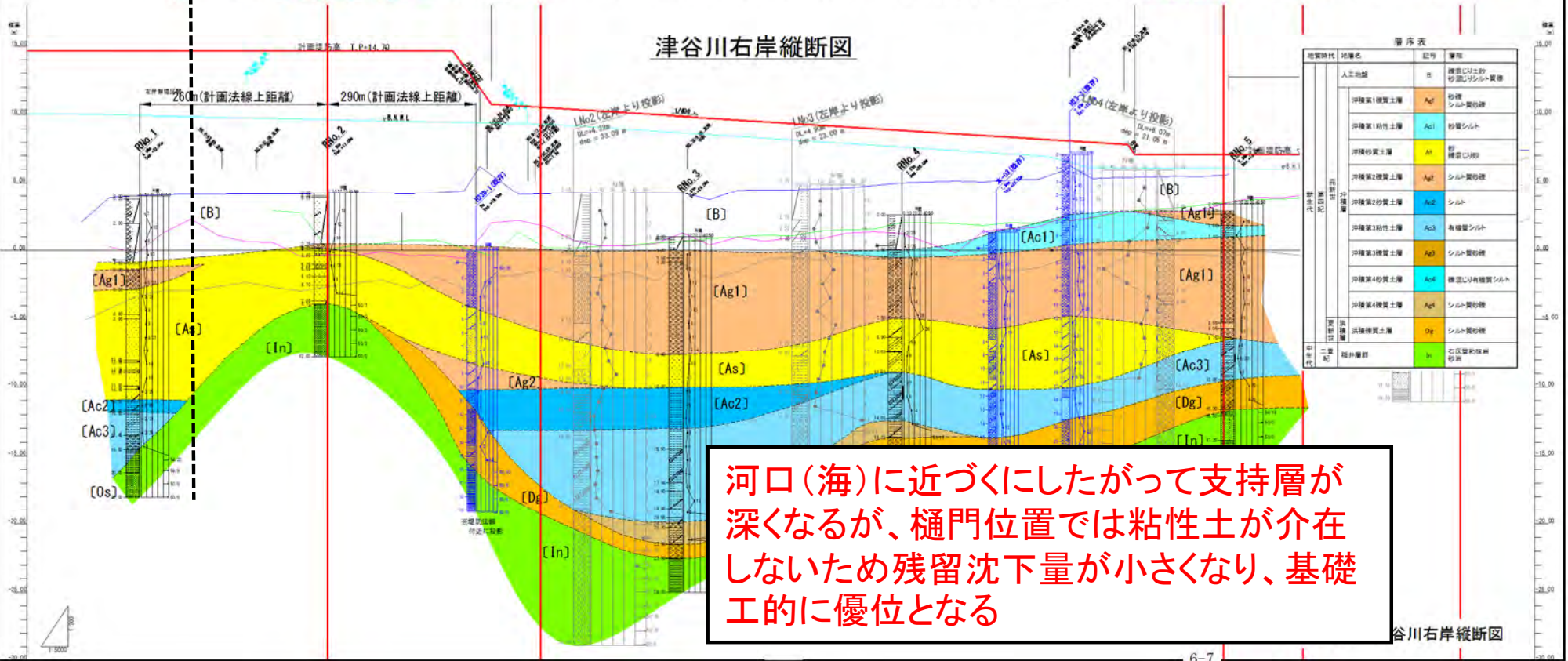
2. 外尾川河口部(7) 樋門位置の選定 (地盤条件)

津谷川平面図



樋門位置
(NO.0-175)

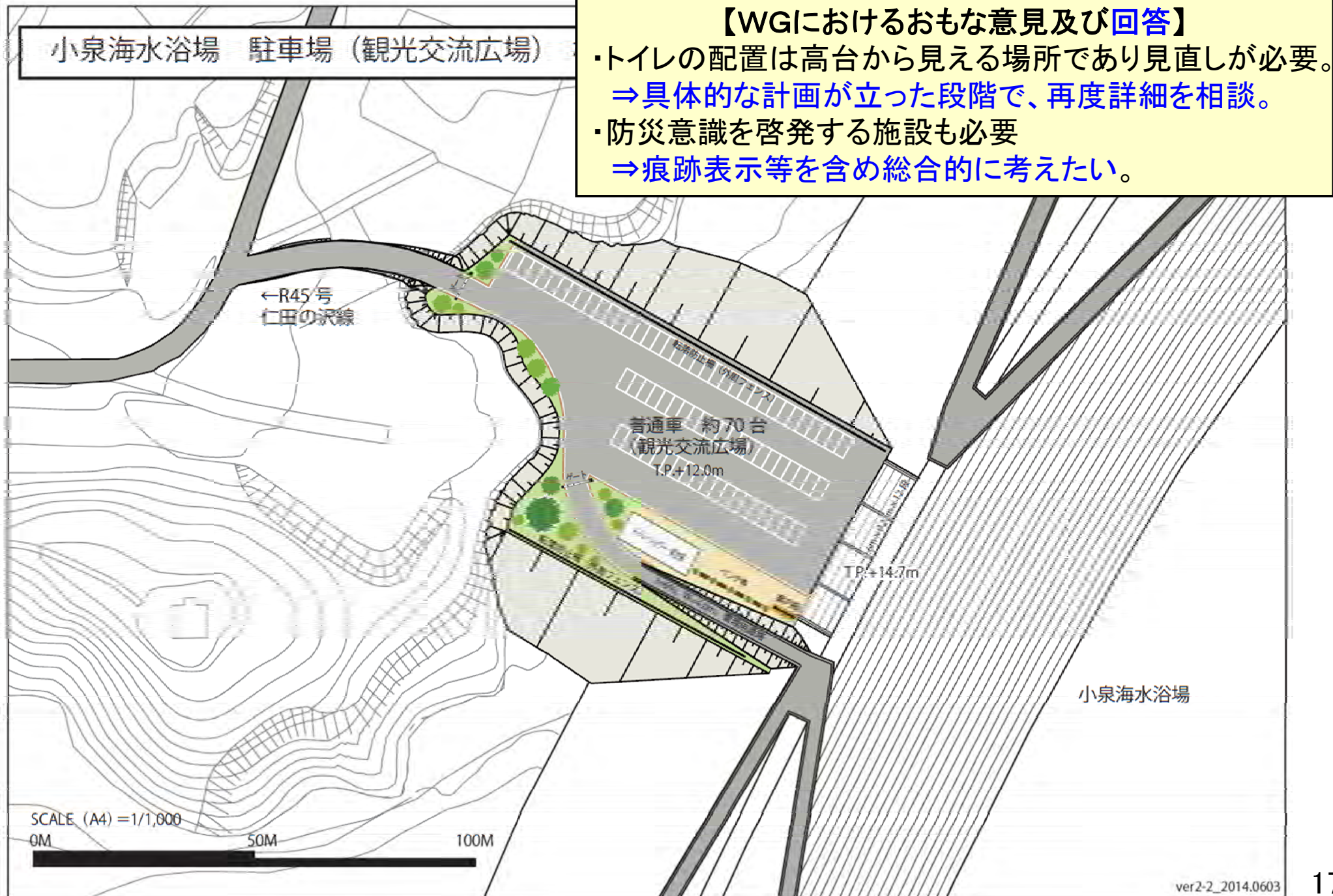
津谷川右岸縦断図



河口(海)に近づくにしたがって支持層が深くなるが、樋門位置では粘性土が介在しないため残留沈下量が小さくなり、基礎工的に優位となる

谷川右岸縦断図

3. 海水浴場施設の整備(1) 第2回検討WGの結果



【WGにおけるおもな意見及び回答】

- ・トイレの配置は高台から見える場所であり見直しが必要。
⇒具体的な計画が立った段階で、再度詳細を相談。
- ・防災意識を啓発する施設も必要
⇒痕跡表示等を含め総合的に考えたい。

3. 海水浴場施設の整備(2) 整備計画案(周辺道路)

海水浴場の整備(1) 周辺計画



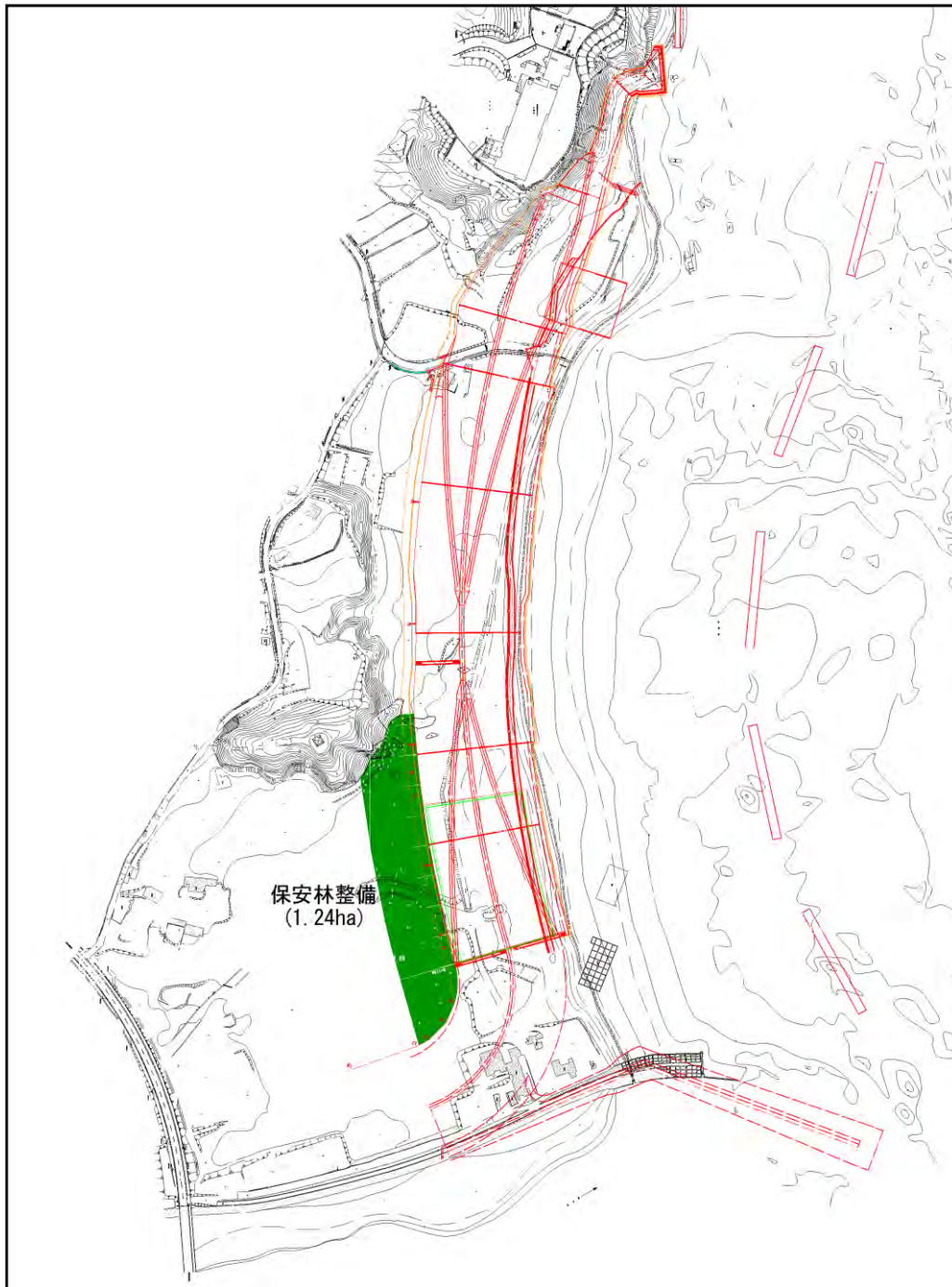
3. 海水浴場施設の整備(2) 整備計画案(施設配置)

海水浴場の整備(2) 駐車場(交流広場)構想図



WG意見を受け、トイレ・シャワールーム位置を北側に変更
植栽、駐車場については、今後細部を検討

4. 保安林整備[中島海岸](1) 第2回検討WG結果



・保安林整備については新たな具体的な整備案がないため、検討会意見の紹介を行った。

【WGにおけるおもな意見及び回答】

・盛土の高さは、松の根が横張りになって倒れないように深めに盛り土を入れると良いのでは？

⇒保安林の高さは地下水位(0.7m) + 2.4mが基準なので、おそらく3m程度の盛土となる。

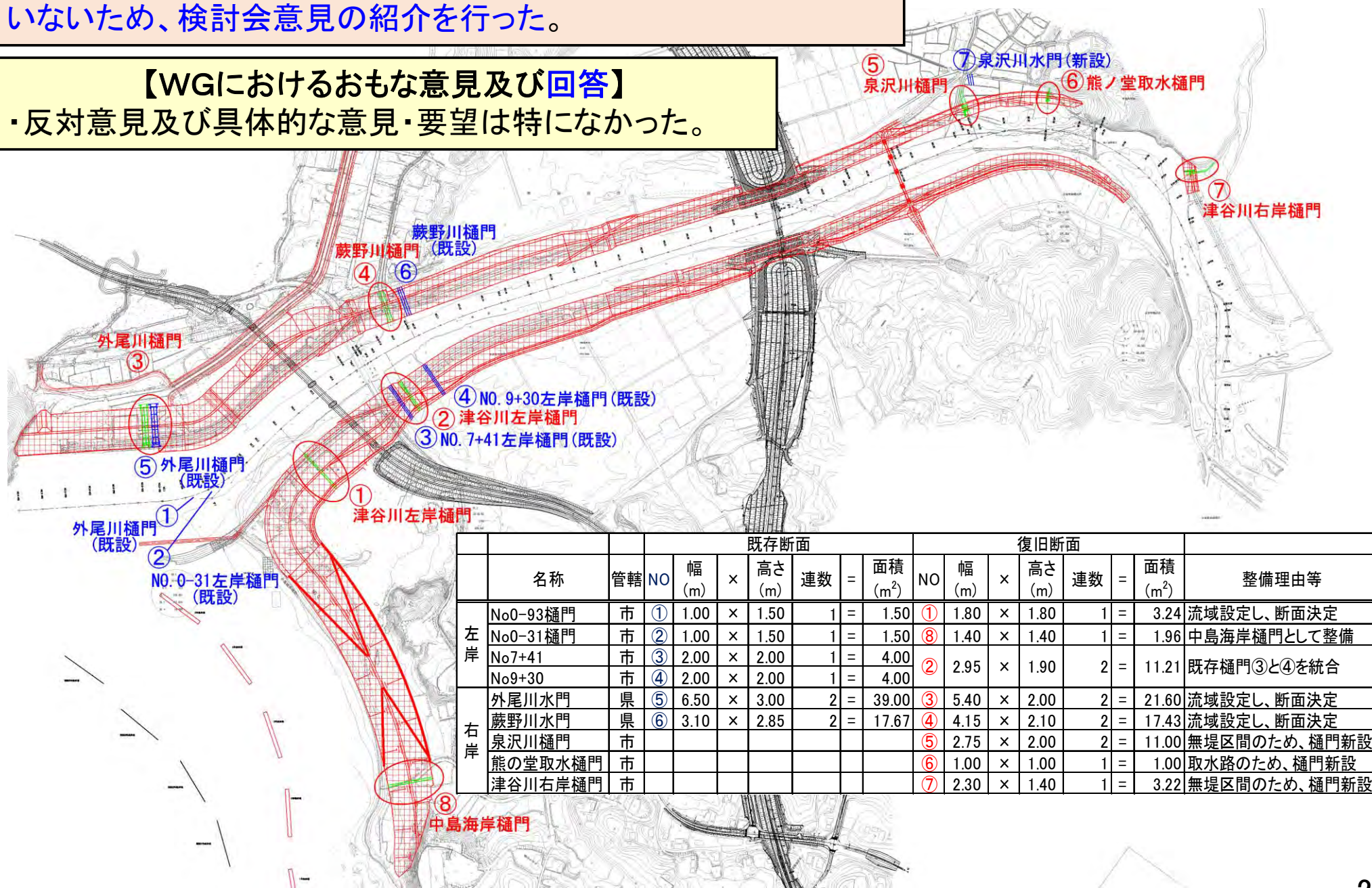
5. 排水について(2)

第2回検討WG結果

・排水樋門整備については具体的な整備案の検討が実施されていないため、検討会意見の紹介を行った。

【WGにおけるおもな意見及び回答】

・反対意見及び具体的な意見・要望は特になかった。



	名称	管轄	NO	既存断面				復旧断面				整備理由等	
				幅 (m)	×	高さ (m)	連数 = 面積 (m ²)	NO	幅 (m)	×	高さ (m)		連数 = 面積 (m ²)
左岸	No0-93樋門	市	①	1.00	×	1.50	1 = 1.50	①	1.80	×	1.80	1 = 3.24	流域設定し、断面決定
	No0-31樋門	市	②	1.00	×	1.50	1 = 1.50	⑧	1.40	×	1.40	1 = 1.96	中島海岸樋門として整備
	No7+41	市	③	2.00	×	2.00	1 = 4.00	②	2.95	×	1.90	2 = 11.21	既存樋門③と④を統合
	No9+30	市	④	2.00	×	2.00	1 = 4.00						
右岸	外尾川水門	県	⑤	6.50	×	3.00	2 = 39.00	③	5.40	×	2.00	2 = 21.60	流域設定し、断面決定
	蕨野川水門	県	⑥	3.10	×	2.85	2 = 17.67	④	4.15	×	2.10	2 = 17.43	流域設定し、断面決定
	泉沢川樋門	市						⑤	2.75	×	2.00	2 = 11.00	無堤区間のため、樋門新設
	熊ノ堂取水樋門	市						⑥	1.00	×	1.00	1 = 1.00	取水路のため、樋門新設
	津谷川右岸樋門	市						⑦	2.30	×	1.40	1 = 3.22	無堤区間のため、樋門新設